# ◎航空業務に関する日本国政府とマレイシア政府との間の協定の付表の修

正に関する交換公文

(略称)マレイシアとの航空協定付表修正取極

日本側書簡	付表	マレイシア側書簡	目 次					
						平成	平成	平成
						元年	元年	元年
						七月二十四日	三月三十一日	三月三十一日
=======================================	一三一九	一三一九	ページ		(外務省告示第三六四号)	告示	効力発生	元年 三月三十一日 クアラ・ランプールで

表

۲

の

間

. の

レイシア

側

書

簡

## 訳文)

表が次 九百 日本 九百 て提案 プ 本官 国 八十八年 八十八年 「簡をもって啓上いたします。 日にクァ Ŧ する光栄を の は 政 に 九百七十二年、 ځ おお 府 おり修 前 い ٤ 記 τ の に修正された航空業務に関す 十一月十六日から十八日までの ラ・ラ の 間 正されるべ 協議にお 有します われた協議 0 ンプ 協定(以下「協 千 ĺ 九百八十年、 V١ ル きこと て に言及する光栄 で署名さ 到 本官は、 達 を し 定」と 7 た 合意 千 ħ レイシア 並 る 九百八十五 千九百六十五 に従 V١ び を 7 ・ う。 間 に千九 有 V 政府 い ク ィ U ア ま シ に代 協定 ラ・ に 百 ァ 年 す , · 政府 及 関し千 六 年二月 わ + の び千 ラ 付 っ ン ٤ 七

## 付 表

1 路線 В 木 国 の 又は二以 Ŀ の 指 定航 空 企 業 が 闹 方 向 に運営 す

る

A シ ı テ 日 1本国 1 シ ı ン ガ バ 内 ボ ン ì J 地 点 ッ ル ク ١ ŀ ジ ī 台 r シ 北 カ ン i ル ガ 香 港 タ ボ 1 Ī ル マ = ١ ラ ク ア ı ラ ホ 1 ラ チ ン 3 プ ン

В 東 京 ı ク ア ラ ラ ン プ ſ ル 及 び 以 遠 の 地 点

C ア 内 H の 本国 地 内 の 地 点 ١ ク ア ラ・ ラ ン プ 1 ル 以外 の 7 1

レイシアとの航空協定付表修正取極

# (Malaysian Note)

Kuala Lumpur, March 31, 1989

# Excellency,

"Agreement"). and 1988 (hereinafter referred to as the Services signed at Kuala Lumpur on February 11, Malaysia and the Government of Japan for Air November 16 to November 18, 1988, concerning I have the honour to refer to the consultations held in Kuala Lumpur from 1965 and the Agreement between the Government of as amended in 1967, 1972, 1980,

said consultations, I now have the honour to propose, on behalf of the Government of Malaysia, that the Schedule to the Agreement be amended as follows: Pursuant to the agreement reached at the

# Schedule

- · Japan: by the designated airline or airlines of Routes to be operated in both directions
- Ρ. Points in Japan - Taibei - Hong Kong - Manila - Ho Chi Minh City - Bangkok -Singapore -Jakarta. Kuala Lumpur - Singapore -
- Tokyo beyond Kuala Lumpur and one point

₩.

Points in Japan - one point in Malaysia other than Kuala Lumpur

?

- II する 7 レ 路 1 ・シア の 又は 二以上の指 定 航 空企業が 両 方 向 に 運
- ゥ テ 1 ル 7 (注2) 1 シ ァ ŧ 内 香港 の 地 ı 点 7 ī = バ ラー ン J 台 ッ 北 ク I 1 ソ ホ ゥ ル ì チ 1 ₹ 東 京 ン ı ソ
- В 3 2 ゥ ı ア + ラ ン・ ラ フランシ ンプー ル スコ 東 又は 京 1 U 朩 ス・ J ル ア ル ン ジ 注 I. ル 1 ス 及 (注 び
- C 7 V ィ シ ァ 内 の 地 点 ı 福 畄 又 は 名 古

往 1 京 使 ۲ マ 朩 な 1 ル シ ル ア ع の の 間 又 は に お 以 い 7 Ŀ 第 の 指定  $\overline{\mathbf{H}}$ の 航 自 空 由 企業 の 運 輸 は 権 を 東

往 2 技術上の ル マ でき ル V ィ る。 着 の シ 陸 運 ア 舧 の の た を め 又 行う間 の んは二 地点とし 以上 ホ 1 の 7 チ 指 の ₹ 定 、 シ ・ み 舧 運 空 シティ 企 航を行 業 は うこ は ホ

ع

往 3 本国 Ð より、 す 7 る の か 航 . 1 ح ح の 務 空 地 シ 当 を 点 ア が 派を選 。 一 一局に対 で 行 ŧ って 又 る 択 し す は い るこ 九 な 八十日 以 い 他 ۲ £ 前 の が の 地 に で 指 通 点 ð 定 告 る 航 ^ そ を行うことに ŧ 空 の の 企 選択 ع し は、 を 変  $\Box$ 

点 る 行 もの う協 は、 ず で 定 n い 業 ず な か n 務 方 か ħ u ば の の V 締 な そ んは 5 約 の す な 繙 国 べての 約 の 国 \_ た 又 の 飛行 ただし んは二 領 域 に出 以 内 特定路 の 1 一たっ O) 地 指 τ 線 点 定 上 を 舧 一の他 起点 その 空 企 の たとす 業 地 又

Ш

- II. Malaysia: by the designated airline or airlines of Routes to be operated in both directions
- Points in Malaysia -Manila - Taibei - Seoul -Minh City (Note 2) - Hong Kong -Seoul. Bangkok -Tokyo -Ю
- ₽. Kuala Lumpur - Tokyo - Honolulu Angeles (Note 3). l and 2) - San Francisco or Los (Notes
- C. Points in Malaysia -Fukuoka or Nagoya.
- Note 1: exercise fifth airlines of Malaysia shall not The designated airline or Honolulu. rights between freedom traffic Tokyo and
- Note 2: a point for technical landing. operate into Ho Chi Minh City airline or airlines of Malaysia For so long as the designated Honolulu, it or they may only is or are operating into as
- Note ω being served. such selection authorities of Japan, may change notice to the aeronautical either point and, upon a 90 day airlines of Malaysia may select The designated airline or to the point not
- III. The agreed services provided by the Party, Contracting Party shall begin at a point designated airline or airlines of either routes may, but other points on the specified territory of that Contracting at the option of the

は二以上の指定航空企業の選択により省略することができ

日付の日に効力を生ずることを提案いたします。 府間の合意を構成するものとみなし、 ŧ のであるときは、 本官は、 る。 更に、 前 記 この書簡及びその旨の の 提案が日本国 |政府 その合意が閣下の返簡 閣下 にとって受諾し得 の返簡を両国政 の る

本官 は、 以上を申し進 めるに際し、 ここに重ねて閣下に向

かって敬意を表します。

千九百八十九年三月三十一日にクアラ・ランプールで

7 レイシア運輸次官 ラモン・V・ナバラトラム

₹ レ イシア駐 在

日本国特命全権大使 中平 立閣下

designated airline or airlines concerned, be omitted on any or all flights.

Government of Japan, I have further the honour to propose that this Note together with Your Excellency's reply to that effect shall be force on the date of Your Excellency's reply. the two Governments which shall enter into regarded as constituting an agreement between I avail myself of this opportunity to If the above proposal is acceptable to the

highest consideration. renew to Your Excellency the assurances of my

(Signed)

Dato' Ramon V. Navaratnam Ministry of Transport Secretary General Malaysia

Ambassador Extraordinary and Mr. Noboru Nakahira His Excellency

Plenipotentiary of Japan to Malaysia

日本側書簡)

(Japanese Note)

Kuala Lumpur, March 31, 1989

(訳文)

の書簡に言及する光栄を有します。書簡をもって啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の

マレイシア側書簡)

合意 問題 る旨 本 使は、 が に関する両国政 を閣下に通報 本 日効力を生ず 日本国 する 政 府 府 ることを確認する光栄を有します。 間 ع ع が の 7 合意 もに V 1 を構 閣下 シ ア政府 ・の書 成するものとみなし、 簡及びこの返簡が の前記の提案を受諾 この そ の す

つ 本 τ 使 Ŧ んは、 敬意を表します。 九百八十九年三月三十一日にクアラ・ランプー 以上を申 し 進 め る に 際 し、 ここに 重 ね τ 閣 下に向

か

マレイシア駐在

日本国特命全権大使 中平 立

マレイシア運輸次官 ラモン・V・ナバラトラム殿

Excellency,

次

I have the honour to refer to Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Malaysian Note)"

I have the honour to inform Your Excellency that the Government of Japan accepts the above proposal of the Government of Malaysia and to confirm that Your Excellency's Note and this reply shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments in this matter, which enters into force on this date.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Noboru Nakahira Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to Malaysia

His Excellency Dato' Ramon V. Navaratnam Secretary General, Ministry of Transport Malaysia

(参考) この取極は、昭和四十年に発効したマレイシアとの航空協定(昭和四十年二国間条約集及び条約

集第一六一四号参照)の付表を修正するものである。